

Redshift

- Redshift
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
- Yellowfin
 -
 -
 -
 -
- -
 -
 -
 -
 -
 -
 - Yellowfin
 -

Redshift

1.

2. Redshift



Amazon Redshift

3.

4.

米国東部 (バージニア北部)

米国東部 (オハイオ)

米国西部 (北カリフォルニア)

米国西部 (オレゴン)

アジアパシフィック (香港)

アジアパシフィック (ムンバイ)

アジアパシフィック (ソウル)

アジアパシフィック (シンガポール)

アジアパシフィック (シドニー)

アジアパシフィック (東京)

カナダ (中部)

EU (フランクフルト)

EU (アイルランド)

EU (ロンドン)

EU (パリ)

EU (ストックホルム)

中東 (バーレーン)

南米 (サンパウロ)



-
-
-
-
-

6.

Redshift ダッシュボード

クラスター

Query editor New

Saved queries

スナップショット

セキュリティ

Workload management

リザーブドノード

Advisor

イベント

クライアントの接続

What's new

Amazon Redshift クラスターの起動 - 詳細設定 | [クイック起動に切り替える](#)

CLUSTER DETAILS NODE CONFIGURATION ADDITIONAL CONFIGURATION REVIEW

クラスターの詳細を入力します。アスタリスク (*) が付いているフィールドは必須です。

クラスター識別子*	<input type="text" value="my-yellowfin"/>	これは、クラスターを識別する一意のキーです。このパラメータは小文字で保存されます。例: my-dw-instance
データベース名	<input type="text" value="yellowfindb"/>	省略可能。dev という名前のデフォルトのデータベースがこのクラスターに対して作成されます。必要に応じて、カスタムデータベース名 (例: mydb) を指定して追加のデータベースを作成してください。
データベースポート*	<input type="text" value="5439"/>	データベースへの接続を受け付けるポート番号。
マスターユーザー名*	<input type="text" value="master_user"/>	クラスターのマスターユーザーの名前。(awsuser など)
マスターユーザーのパスワード*	<input type="password" value="....."/>	パスワードには 8 ～ 64 文字の印刷可能な ASCII 文字 (/ , \ , および @ は除く) が含まれている必要があります。少なくとも 1 つの大文字、1 つの小文字、および 1 つの数字が含まれている必要があります。
パスワードの確認*	<input type="password" value="....."/>	マスターユーザーのパスワードの確認

キャンセル

次へ

7.

Redshift ダッシュボード

クラスター

Query editor New

Saved queries

スナップショット

セキュリティ

Workload management

リザーブドノード

Advisor

イベント

クライアントの接続

What's new

CLUSTER DETAILS

NODE CONFIGURATION

ADDITIONAL CONFIGURATION

REVIEW

ノードの数とノードのタイプを選択します。複数ノードクラスターにはコンピューティングノードの数が必須です。

ds2 および dc2 ノードタイプは、それぞれ ds1 および dc1 ノードタイプを置き換えます。新しい ds2 および dc2 ノードタイプは ds1 および dc1 より高いパフォーマンスを追加料金なしで提供します。詳細はこちら。

ノードのタイプ

dc2.large

コンピューター、メモリー、ストレージ及びクラスターノードの I/O キャパシティを指定します。

CPU

ノード当たり 7 EC2 Compute Units (2 virtual cores)

メモリー

ノード当たり 15.25 GiB

ストレージ

ノード当たり 160GB SSD storage

I/O パフォーマンス

中

クラスターのタイプ

Single Node

単一ノードクラスターは、リーダー及びコンピューティング機能を実行する一つの単一ノードで構成されます。

コンピューティングノードの数*

1

最大

1

最小

1

キャンセル

戻る

次へ

8.

Redshift ダッシュボード

クラスター

Query editor Now

Saved queries

スナップショット

セキュリティ

Workload management

リザーブドノード

Advisor

イベント

クライアントの接続

What's new

Amazon Redshift クラスターの起動 - 詳細設定 | [クイック起動に切り替える](#)

CLUSTER DETAILS

NODE CONFIGURATION

ADDITIONAL CONFIGURATION

REVIEW

必要に応じて以下で追加の構成の詳細を指定します。

クラスターパラメータグループ

default.redshift-1.0

このクラスターに関連付けるパラメータグループ。

データベースの暗号化

☒ なし ☐ KMS ☐ HSM

[データベース暗号化の詳細](#)

ネットワークオプションの設定:

VPC の選択

デフォルト VPC (vpc-79bd701c)

クラスターを作成する VPC の識別子

クラスターサブネットグループ

default

どのクラスターサブネットグループを選択したかによって、選択できるアベイラビリティゾーンが限定される場合があります

パブリックアクセス可能

☒ はい ☐ いいえ

パブリックインターネットからクラスターにアクセスできるようにする場合は、[はい] を選択します。プライベート VPC ネットワーク内からのみアクセスできるようにする場合は、[いいえ] を選択します。

パブリック IP アドレスの選択

☐ はい ☒ いいえ

クラスターの VPC に対して既に設定されている Elastic IP (EIP) アドレスのリストから独自のパブリック IP アドレスを選択する場合は、[はい] を選択します。Amazon Redshift が EIP を指定するように設定する場合は、[いいえ] を選択します。

拡張された VPC のルーティング

☐ はい ☒ いいえ

拡張された VPC のルーティングを有効にするには、[Yes] を選択します。 [詳細はこちら](#)

アベイラビリティゾーン

指定なし

クラスターが作成される EC2 アベイラビリティゾーン。

クラスターを 1 つ以上のセキュリティグループに関連付けます。

VPC セキュリティグループ

All (sg-017851cfc61eab862)
Clustering Series (sg-f9d1b69d)
Confluence (sg-250e4a41)
FTP (sg-cc0541a8)
MS SQL (sg-1efabf7a)
MySQL (sg-a7f8bdc3)
RDP (sg-249dfa40)
Redshift (sg-7e9d9d1a)
Rserve (sg-329fe455)
SSAS (sg-da0743be)
default (sg-15943e70)

このクラスターに関連付ける VPC セキュリティグループのリスト。

必要に応じて、このクラスターの基本アラームを作成します。

CloudWatch アラームの作成

☐ はい ☒ いいえ

CloudWatch アラームを作成してクラスターのディスク使用状況をモニターします。

必要に応じて、このクラスターのメンテナンストラックを選択します。

メンテナンストラック

☒ Current ☐ Trailing

機能とバグ修正を含む最新の認定されたメンテナンスリリースを適用するには、[Current] を選択します。以前に認定されたメンテナンスリリースを適用するには、[Trailing] を選択します。

オプションで、最大 10 個の IAM ロールをこのクラスターに関連付けることができます。

使用可能な IAM ロール

ロールを選択します。

キャンセル

戻る

次へ

Redshift ダッシュボード

クラスター

Query editor New

Saved queries

スナップショット

セキュリティ

Workload management

リザーブドノード

Advisor

イベント

クライアントの接続

What's new

Amazon Redshift クラスターの起動 - 詳細設定 | [クイック起動に切り替える](#)

CLUSTER DETAILS

NODE CONFIGURATION

ADDITIONAL CONFIGURATION

REVIEW

次の仕様を持つクラスターを起動しようとしています。

クラスターのプロパティ

データベース設定

これらの属性は、クラスターの名前、クラスターが実行される仮想ハードウェアのタイプ、クラスターを構成するノードの数、およびクラスターが配置されるアベイラビリティゾーンを指定します。

クラスター識別子: my-yellowfin

ノードの種類: dc2.large

コンピューティングノードの数: 1 (リーダーとコンピューティングは単一のノードで実行される)

アベイラビリティゾーン: 指定なし

これらのプロパティは、データベースに接続するために使用するデータベース名、ポート、およびユーザー名を指定します。パラメータグループには、データベースによって使用される設定値が含まれています。

データベース名: yellowfindb

データベースポート: 5439

マスターユーザー名: master_user

クラスターパラメータグループ: default.redshift-1.0

セキュリティ、アクセス、および暗号化

CloudWatch アラーム

これらの設定は、他の AWS サービスとの統合を容易にするためにクラスターを既存の VPC に作成するかどうかと、クラスターへのアクセス規則を定義するセキュリティグループを制御します。

Virtual Private Cloud: vpc-79bd701c

クラスターサブネットグループ:

パブリックアクセス可能: はい

Elastic IP: 使用されていない

VPC セキュリティグループ Redshift (sg-7e9d9d1a)

拡張された VPC のルーティング: いいえ

データベースの暗号化: いいえ

CloudWatch アラームは、クラスターのメトリクスが特定のしきい値内である場合に通知を送信するために使用されます。アラームがトリガーされると、アラームに指定されている SNS トピックに属するすべての受取人が通知を受け取ります。

このクラスターの基本アラームは作成されません

⚠️ 無料トライアルを利用する資格がない場合は、クラスターがアクティブになると同時に課金が始まります。

対象料金:

このクラスターのオンデマンドの時間料金は、ノード当たり **\$0.31** または **\$0.31** になります。このリージョンでこのノードタイプのアクティブなリザーブドノードを購入した場合は、割引料金になります。追加のノードに対しては、オンデマンド料金が課金されます。

無料トライアルを利用する資格がある場合は、トライアル期間中、1 か月当たり 750 時間まで無料で使用できます (これはすべてのリージョンで実行されているすべての dc2.large ノードに適用されます)。トライアルを開始した日時に関係なく、2 か月間にわたって無料で使用できます。トライアル期間が終了したとき、または 1 か月以内に 750 時間を超えたとき、クラスターをシャットダウンして課金を回避するか、標準 **オンデマンドレート** で実行を継続するかを選択できます。

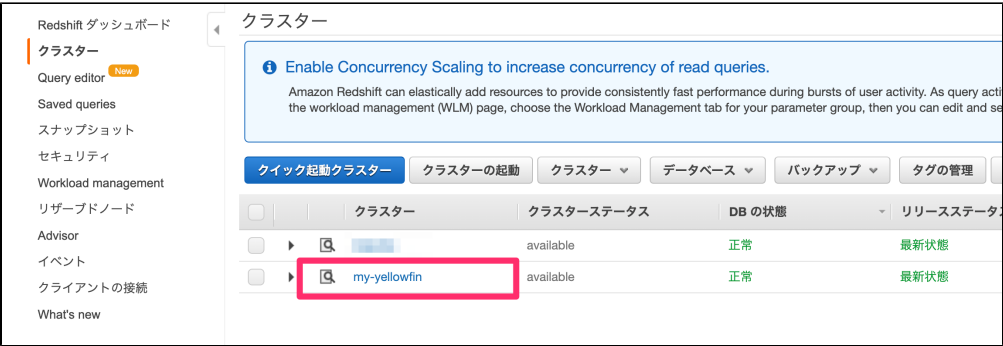
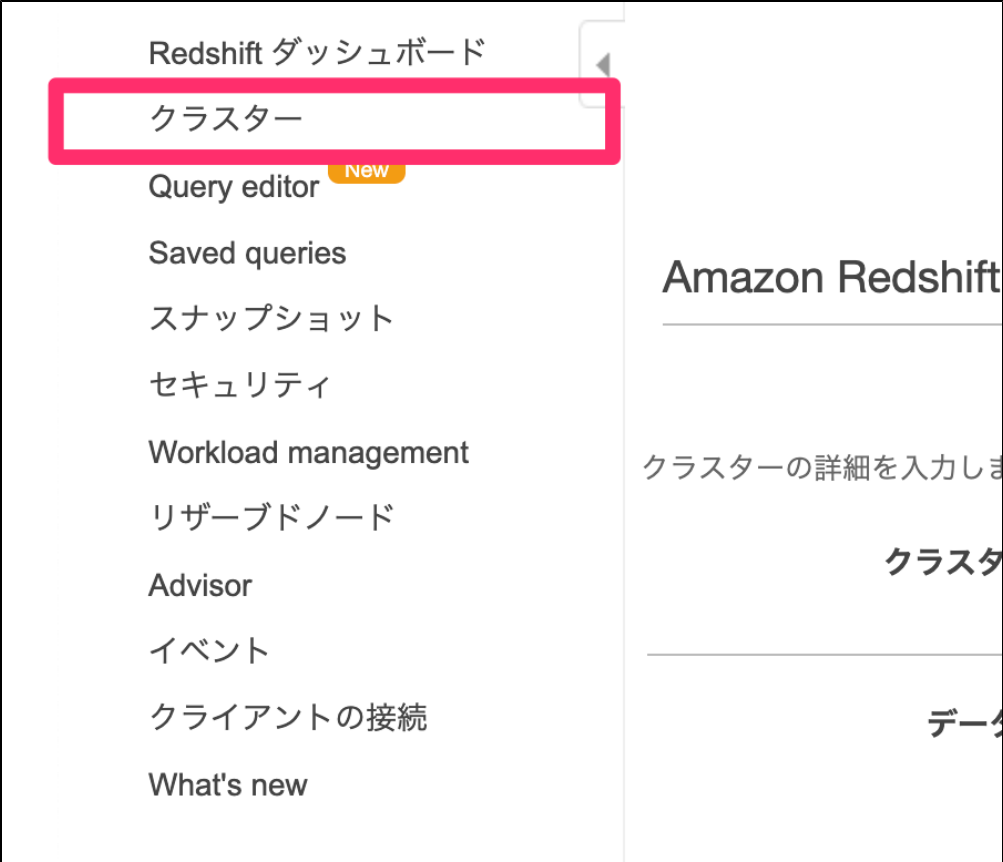
詳細については、「[Amazon Redshift 無料トライアルの FAQ](#)」、「[Amazon Redshift の料金表](#)」、および「[リザーブドノードのドキュメント](#)」を参照してください。

キャンセル

戻る

クラスターの起動

10.



Yellowfin

-
-
-
-
-

Redshift ダッシュボード

クラスター: my-yellowfin

設定ステータスクラスターのパフォーマンスデータベースパフォーマンスクエリ

クラスター

Query editor

Saved queries

スナップショット

セキュリティ

Workload management

リザーブドノード

Advisor

イベント

クライアントの接続

What's new

クラスター: my-yellowfin

クラスターデータベースバックアップ

エンドポイント my-yellowfin.cnvkrjdk78t.ap-northeast-1.redshift.amazonaws.com:5439 (承認済)

クラスターのプロパティ

クラスター名 my-yellowfin

クラスタータイプ Single Node

ノードタイプ dc2.large

ノード 1

ゾーン ap-northeast-1c

作成時刻 2019年9月4日 14:11:28 UTC+9

メンテナンストラック Current

クラスターバージョン 1.0.9041

最新状態

VPC ID vpc-79bd701c (VPC の表示)

クラスターサブネットグループ default

VPC セキュリティグループ Redshift (sg-7e9d9d1a) (有効)

クラスターパラメータグループ default.redshift-1.0 (in-sync)

拡張された VPC のルーティング いいえ

IAM Roles See IAM roles

クラスターステータス

クラスターステータス 使用可能

データベースの状態 正常

メンテナンスモード いいえ

パラメータグループ適用のステータス 同期中

保留中の修正値 なし

クラスターデータベースのプロパティ

ポート 5439

パブリックアクセス可能 はい

データベースの名前 yellowfindb

マスターユーザーの名前 master_user

暗号化済み いいえ

JDBC URL jdbc:redshift://my-yellowfin.cnvkrjdk78t.ap-northeast-1.redshift.amazonaws.com:5439/yellowfindb

ODBC URL Driver=[Amazon Redshift (x64)]; Server=my-yellowfin.cnvkrjdk78t.ap-northeast-1.redshift.amazonaws.com; Database=yellowfindb; UID=master_user; PWD=insert_your_master_user_password_here; Port=5439

バックアップ、監査ログ記録、およびメンテナンス

自動スナップショット保持期間 1

Manual Snapshot Retention Period -1

クロスリージョンスナップショットは有効 いいえ

監査ログ記録は有効 いいえ

メンテナンスウィンドウ 水曜日 13:00 - 13:30 PM

バージョンアップグレードの許可 はい

メンテナンスウィンドウの延期 今すぐ設定

キャパシティの詳細

現在のノードタイプ dc2.large

CPU ノード当たり 7 EC2 Compute Units (2 virtual cores)

メモリ ノード当たり 15.25 GiB

ストレージ ノード当たり 160GB SSD storage

I/O パフォーマンス 中

プラットフォーム 64-bit

SSH 取り込み設定

クラスターパブリックキー:

ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAADAQABAAQCTZgh08SF0rMMZ2zoOMsk6g4L090IEHw9BhZossg2bS1MqehhAnLkUS35+Qyz4m0DwPvypahqBh+kSpCNfzZ0D99SF1mpXqGrttprRi+TmDEA1+yU1N1WCLqTH/9dZzo5wCuVe6wEk+9IPhvm89xMofThGj7jqtZXG3WxeMajL7NGE3mpU L0GmLmm7OANV9p16fZhsW0IAEikLuz0ZF98kavC7A7MNsKQAv35ANUJC0w/351NOP8roxjHvyRdwehx+2LjH+HvA4JQZ6uOmlRtgmKxAeUER223LkKwMJEFcB45e2bZaZu/LYJEMApJOpg0PiWxPjoi6L Amazon-Redshift

ノード IP アドレス:

ノード	パブリック IP	プライベート IP
Shared	3.114.195.221	172.31.31.175

Yellowfin

1.Yellowfin

2.



System Administrator



ダッシュボード

ユーザー

閲覧



シグナル



ストリーム

管理

管理コンソール

システム構成

コンテンツ設定

エクスポート








インポート

イメージとマップ

電子メールテンプレート

3.

4.

データソース	
接続	説明
Google Analytics	 
Ski Team	Ski Team is the demonstration and tutorial data...  
Yellowfin Configuration Databa...	  
追加	

Yellowfin

5.

コネクションプール

最小接続数

同時に接続できる接続の最小数を定義します。

1

最大接続数

同時に接続できる接続の最大数を定義します。

5

更新時間

接続をセットし直す間隔を時間単位で定義します。

3

タイムアウト

接続がタイムアウトで閉じられるまでの秒数を定義します。

180

セカンダリープールを使用

バックグラウンドタスク実行用に、このデータベースのセカンダリーコネクションプールを有効にすることができます。

☐

セキュリティ

アクセスレベル

適切なロール権限を持つすべてのユーザーがこの接続にアクセスすることができ、ビューの作成、フリーハンドSQLレポート、トランスフォーメーションフローにこの接続を使用することができます。

公開 ☒ 非公開 ☐

パラメーター

最大ロウ(行)数

この接続で実行するクエリーが返す行数を制限するかどうかを指定します。

☒

最大ロウ(行)数

この接続で実行するクエリーが返す行数の上限を定義します。

10,000

解析に使用する最大ロウ(行)数

インサイトやシグナルなどの解析クエリーを実行するときに、この接続で実行するクエリーが返す行数を制限するかどうかを指定します。

☐

書き込み可

このデータベースにデータを書き込むことができるかどうかを指定します。

☐

タイムゾーン

このデータベース接続および関連するスケジュールに紐付けるタイムゾーンを指定します。

オーストラリア(Australia)

シドニー(Sydney) (+10:00)

ブロードキャスト

この接続を基に作成されたコンテンツをブロードキャストできるかどうかを指定します。

☒

購読

この接続を基に作成されたコンテンツを配信できるかどうかを指定します。

☒

データプロファイリング

このデータソースを使用しているビューでは、データプロファイリングを実行できます。

☒

クライアント

データソース

クライアントソースからのアクセスフィルターを継承する

☐

クライアントソースからのアクセスフィルターを継承する

6.Redshift

- JDBC
- Standard Authentication
- Amazon Redshift
- SQL
- IP
-
-
-
-
-
-

7.

接続設定

接続方法

接続の種類を指定します。

JDBC

認証アダプター

認証方法としてスタンダード認証またはパススルー認証のどちらかを指定します。

Standard Authentication

データベースタイプ

接続するデータベースの種類を指定します。

Amazon Redshift

ドライバー

JDBCドライバー

RedShift 4.1 Driver

SQLにスキーマを含める

SQLクエリーの中でテーブルのアドレス指定をするときにスキーマを含む。

☒

データベースホスト

データベースサーバーのサーバー名を指定します。

my-yellowfin.cvxkrydk78t.ap-north

データベースポート

データベースに接続するためのポート番号を指定します。

5439

データベース名

データベースの名前を指定します。

yellowfindb

JDBCドライバー

JDBCデータベースドライバー

com.amazon.redshift.jdbc41.Dri...

ユーザー名

データベース接続に使用するユーザー名を指定します。

master_user

パスワード

データベース接続に使用するパスワードを指定します。

キャンセル

テスト接続

✓ 接続成功

データベース: PostgreSQL

製品バージョン: 08.00.0002

ドライバー: RedshiftJDBC

ドライバーバージョン: 01.02.20.1043

データベースバージョン: 8.0

ソース名: Amazon Redshift

データベーススキーマ:

テーブルがありません。

Yellowfin

-
-

- [AWSYellowfin](#)
- [AzureYellowfin](#)
- [Google Cloud PlatformYellowfin](#)

- [Docker](#)
- [Kubernetes](#)
- [Yellowfin](#)

Yellowfin

[Yellowfin](#)

-
- [Yellowfin](#)
-

-
- [Yellowfin](#)
- [LinuxYellowfin](#)
- [SAML Bridge](#)
-